

[特集] kyotoこころつながるプロジェクト

- ・社会福祉施設との協働でひろがるまちづくり2
- ・こころつながれ ～わたしのお気に入り、私の日常、ワタシの気持ち～4
- ・つながるフェス 出会い、つながる きっかけの場6
- やってみよう、生活支援員[日常生活自立支援事業] 8
- つながり続ける地域をめざして 10



人とつながる、
地域とつながる



Renewal! -----
**職員採用情報ホームページ
リニューアルしました**

- 情報が検索しやすい
- 先輩インタビューにリアルな声を掲載

ホームページは
こちらから



社会福祉施設との協働でひろがるまちづくり

～人と地域をつなぐ地域公益取組～

2023(令和5)年10月27日、キャンパスプラザ京都で地域共生社会の実現に向けた地域と施設の協働を考えるシンポジウムを開催。施設、当事者団体、地域の活動者、行政など91名の参加があり、よりよい地域づくりを一緒に考える新たな交流の場となりました。

人々の暮らしをより豊かにするために、
 地域と施設の新たな協働を。

志藤 修史 さん (大谷大学社会学部 教授)



地域と施設との長年の努力により、交流と協働が積み上げられてきました。

施設は社会福祉事業を通じて地域の暮らしを支えており、地元には施設があることは地域住民の暮らしに安心感



をもたらししています。また、施設が利用者の暮らす地域を知ることで生活をより豊かにし、施設の民間性を活かした先駆的な地域公益活動で、制度にあてはまらない部分への支援にも取り組んできました。

しかし、こうした取組は、コロナ禍によるボランティア不足、地域活動者の高齢化、施設職員不足、困難な施設経営など、厳しい状況に直面しています。

これらの課題を克服するためには、分野を超えて知恵を出し合う必要があります。今後は、地域住民にとってケアがないと成り立たない社会となるでしょう。だからこそ、交流と協働を取り戻し、気づいたこと・できることから始めていく姿勢が大切です。

1 地域の課題と一緒に取り組む事例

理解者・協力者との出会いを丁寧に紡ぎ、
 気づいた課題に“今できること”から取り組む。

楠 りつこ さん (社会福祉法人白百合会 リ・ブラン京都中京 理事長)



就労継続支援B型事業所「リ・ブラン京都中京」と「リ・ブラン京都西京」を運営している社会福祉法人白百合会。約40年前にカトリック教会の敷地内で重度身体障害者共同作業所を開所したことが礎となっています。

「リ・ブラン京都中京」の設置にあたり重視したのは、地域の方々に受け入れられ、共感できる関係になること。そこで三条通りに面した一階にカフェを開き、地域交流の場としたところ、多くのお客様で賑わうように。町内会の役員会などにも使われるようになりました。

地域の皆さんに受け入れられたご恩返しをしたい。そんな思いから取り組んだのが、子ども達への食事と学習の支援活動『こどもの城・セカンドテーブル』でした。

宿題のサポートや夕食の提供ではありません。塾

の講師や学生が中心となって国語や算数、英語、プログラミングの授業、脳トレなどを実施しています。経済格差が学力格差につながる中、どんな家庭の子どもも学力を伸ばせる体制を整えています。

来年度からは中学生を対象とした学習支援活動を始める予定で、子ども達の見守りと地域交流の場としてコミュニティカフェが開設、運営されます。



2 利用者の力を地域に活かす・生きづらさを抱える方を社会参加へつなぐ事例

“できること”で地域に活躍の場を作る。
既存の事業を活用して施設の強みを活かす。

岩崎 由香里 さん（小規模多機能・グループホームかたぎはら 副施設長）



認知症高齢者の居場所づくりを通して出会ったのが「大原野よもぎ倶楽部」。よもぎと触れ合うことが認知症の方の脳に良いとの話もあり、利用者がよもぎ摘みに協力しました。摘んだよもぎは商品化され地域の活性化の取組につながっています。施設に持ち帰ってのよもぎ茶葉の袋詰め作業は、京都中央看護保健大学校との協働。学生からは「認知症の方がこんなにできることに驚いた」と、利用者からは「楽しいわ」「もっとしたい」との声があがりました。



また、施設では「チャレンジ就労体験事業^{※1}」に地域公益活動として協力しています。本人のペースに寄り添いながら、掃除などの作業を週1回2時間から始め、少しずつコミュニケーションできるようになり、体験終了後に臨時職員として採用されたケースもあります。福祉職の強みを活かして既存の事業を活用した取り組みやすさと、取組を通して施設の職員不足の一助につながる利点がありました。

こうした取組の積み重ねが、さまざまな生きづらさを抱えた人が地域の一員として役割をもって共に心豊かに暮らせる社会につながると思っています。

※1「チャレンジ就労体験事業」一般就労が難しい方に施設等での就労体験を通じ就労の自立を図る事業。

グループでの情報・意見交換

「できることからはじめよう、協働でつくるまちづくり」

- ・地域には複合的な課題を抱えた人が多く、ネットワークで知恵を寄せ合って考えることが大事。
- ・新しく取組を作り出すことは難しいが、地域に声をかけてもらえたら協力したい。
- ・コロナ禍を経て、ゆるやかにつながりながら、活動者も楽しめる取組が増えている。
- ・フードパントリーなど、複数の施設・団体で協働する取組もある。



区毎に、施設・推進委員会・行政・区社協などで意見交換をしました

参加者の 感想

事例から小さな取組でも地域と交流できることを知った。地域でのつながり・交流が大切と感じた。

地域の関係者間での“顔の見える関係づくり”ならすぐに取り組みそうに思う。

同じ区内で分野を超えてつながり、意見交換することができてよかった。



ところつながれ

～わたしのお気に入り、私の日常、ワタシの気持ち～

作品展示・協働作品・ワークショップ

2023(令和5)年10月31日～12月15日、参加支援部・生活支援部の事業で関わりのある、社会的なつながりが希薄で孤立している方や障害のある方が“好き”や“得意”を生かし、“思い思いの形で参加できる”作品展示・協働作品・ワークショップを開催しました。

1 | 作品展示

それぞれが大切にしている「お気に入り」「日常」「気持ち」を表現した作品を展示しました。応募作品103点(写真57点、絵や手芸等の現物作品46点)が集まり、会場が彩られました。たくさんの来場者に出品者の心の中にある豊かな世界に触れていただくことができました。



展示会場ではじっくり作品を楽しむ姿が



感想コーナーで来場者をつながる

参加者の声

- 作品を披露する場があって嬉しい、来年も参加したい
- 自分の作品を人に見てもらえて、とても満たされた気持ちになった

2 | 協働作品 「こっプロマップ」

「音楽」「スマホゲーム」「YouTube」「コンビニスイーツ」のジャンルごとのアンケート結果をもとに、分類作業を行い、大きな地図のようにまとめ展示しました。



アンケートでみんなの「お気に入り」を情報収集



みんなで話し合いながらマップの分類作業



展示会場では、マップを眺めながら来場者同士の会話が弾む

参加者の声

- みんなで一緒に作業するのが楽しかった
- 無事マップができて達成感を感じた
- 作業日や展示会場に行くのは勇気が出ないが、アンケートで参加できたのがよかった

福祉事業を始めるなら

賠償責任保険は必須です!

福祉事業者総合補償制度

「まごころワイド」をおすすめします!

充実の賠償責任補償制度、
 安価な傷害見舞金補償制度など
 必要なプランを組み合わせでご加入いただけます。

福祉専門チームによる安心の事故対応、京都市社会福祉協議会、
 京都府社会福祉協議会が提供する福祉の現場に合った内容です。

詳しい補償内容はこちらまで

福祉の保険「まごころワイド」取扱代理店

京都の総合
 保険代理店 **SRM 株式会社 エスアールエム**

専用TEL **075-255-0883**

福祉の保険
 ホームページ **www.srm-net.co.jp/**

引受保険会社：三井住友海上火災保険株式会社

この広告は保険の特徴を説明したものです。
 詳しくは商品パンフレットをご覧ください。

ボランティア活動には「ボランティア保険」
 イベントを開催される際には「福祉行事保険」も併せてご利用ください。

3 | ワークショップ

「見る」「聞く」「体験する」をテーマに、“得意”や“好き”を生かした6つのワークショップを当事者が企画し、約160名の来場者と一緒に行いました。



手作り木工ゲーム
ゴム鉄砲、チーズ板など盛りだくさん



コースター作り
得意な裁縫でコースター作り



ペーパークラフト
トコトコ歩く動物やハートバッグづくり



絵しりとりゲーム
チーム対抗で盛り上がる!



少人数ゲーム(ジエンガ等)
3種類のゲームで楽しむ!



大人数ゲーム(大喜利クイズ)
みんなの意外な価値観を発見

参加者の声

- できるか不安だったけど、来場者が笑顔で楽しんでいる姿をみて安心した
- 企画から関わられたのがいい経験になった
- がんばりを認めてもらい励みになった

4 | 出張版こっプロ

右京・下京・山科の区社会福祉協議会とともに作品展示やワークショップを実施しました。



10/30-11/1 右京区社協
『作品展示』
右京区総合庁舎1階区民ロビーで開催することで幅広い層の方が来場!



11/24 下京区社協インクル
『みんなの特技披露会』
特技を生かしてゲームやクロスワードのワークショップを実施



12/13-15 山科区社協
『Yamashina Exhibition いろんな作品展示』
居場所フリスベを会場に、ゲームなどのワークショップや作品展示を実施

まとめ

こっプロ3年目の今年度はさらに『多様な参加の形』を実現し、より多くの方とともに、様々なイベントが実施でき、つながる喜びを実感できました。まさに **こころつながる** です! (◀消しゴムはんこ作りで参加の方も!)

イベントの様子を動画にまとめました。ぜひご覧ください!



歴史ある大本山
東福寺のお墓

新春 無料見学会・仏事相談会
1月27日(土)～2月18日(日)

宗旨・宗派 不問 ◆ご見学・資料請求はお電話にて◆ 永代供養塔

納骨や墓じまいをお考えの方、終活相談にもすぐに対応しております。(生前予約可)

永代供養塔「結縁之塔」新塔完成

大切なお墓の管理、

墓じまい
をしたい

子孫に
負担を
かけたくない

お寺との
付き合いが
面倒
(寄付金等)

納骨
を
考えている

終活
のご相談

お困りではありませんか?

永代供養は新しいお墓のかたちです。
信頼できるお寺に供養を託して安心してご先祖様にお眠りいただけます。

東福寺善慈院 永代供養塔「結縁之塔」受付センター
0120-153-594

お電話でも
無料相談
受付中

つながるフェス

出会い、つながる きっかけの場所

2023(令和5)年12月に「出会い、つながる きっかけの場」をテーマにつながるフェスを開催しました。

ゼスト御池会場では、ボランティアグループや福祉団体等がワークショップや活動紹介を実施、QUESTION会場では障がい者支援施設等によるパンや焼き菓子、コーヒー等の販売を行いました。

参加いただいた団体から、大学生を中心としたボランティアグループを紹介します。

「生理の貧困」問題からつながる

NPO法人お客様がいらっしゃいました。



●活動概要

コロナ禍の2021(令和3)年、「生理の貧困」問題をきっかけに生理用品の配布会から活動をスタート。

商業施設等と連携して、生理用品回収ボックスを設置したり、配布会では当センターと協働し、生理用品だけでなく、食料品・日用品等も配布しています。

また、生理や性の知識の不足は生きづらさにもつながると考え、子どもの居場所等へ、男女を問わず小学生を対象にした性教育の出前授業も行っています。

●つながるフェスでは

生理用品の寄付受付と活動の啓発を行いました。

Q:つながりたい人は?

寄付したい!: 生理用品の寄付は河原町OPA 2階トイレ前で受け付けています。

学びたい!: 性教育講座の開催を希望される団体はHPの受付フォームからご相談ください。

Instagram



X(旧Twitter)



ホームページ



団体の思いは、
ボラセン月刊誌でチェック!

お客様が
いらっしゃいました。



レモネードスタンド
Philia



Instagram



小児がんの子どもへの支援からつながる

レモネードスタンドPhilia(フィリア)



●活動概要

小児がんを経験した同級生の日常生活を手助けするなかで、闘病中だけでなく寛解後も生活のしづらさが続く実感し、「自分たちもなにかできないか」と考え、レモネード販売を通して、小児がん患者支援のための活動資金を寄付する活動「レモネードスタンド」をはじめました。

●つながるフェスでは

レモネード・ホットレモンの販売と活動紹介を行いました。

Q:つながりたい人は?

寄付したい!: 次回出店はInstagramからご確認ください。
出店してほしい!: 地域のイベント等での出店を希望される団体はご相談ください。



「認知症を知ってほしい」という当事者の思いからつながる

認知症啓発プロジェクト(京都市長寿すこやかセンター・京都市福祉ボランティアセンター)

●若者と当事者のつながるフェスまでのあゆみ



インタビューから物語を構成する



投稿内容の協議を重ねる



つながるフェスの準備

●活動概要

認知症啓発プロジェクトは、「おれんじサロン ひと・まち*1」に参加する、若年性認知症**2当事者の「若い人にも認知症のことをもっと知ってもらいたい」という「声」からはじまりました。

学生・社会人を中心としたボランティアと当事者が協議を重ね、「当事者の思い」「家族の思い」等をInstagramで発信することにしました。

認知症と診断されたときの気持ち、認知症の症状の不便さやつらいこと、おれんじサロンに参加するなかで前向きになれたきっかけ、家族から見た当事者の姿など、インタビューを通じて、ボランティアが当事者の心に寄り添うよう努めています。

また「認知症で不便を感じていることがあれば、自分たちが工夫していることを伝えたい」という当事者の思いから、外出時に便利なアプリ等も紹介しています。使用場面がわかりやすいよう、バス停等で当事者がモデルとなり、ボランティアが撮影して記事を作成するなど、アイデアを出し合っています。

- *1 京都市長寿すこやかセンターが主催する若年性認知症当事者を中心とした交流会。
- *2 若年性認知症とは65歳未満の人が発症する認知症。発症する平均年齢は概ね51歳と言われています。

●つながるフェスでは

認知症啓発プロジェクトのInstagramアカウントをフォローしてもらうことを目的に、プチInstagram講座を実施したほか、インタビューに着想を得て作成した物語の動画等を上映しました。

Q:つながりたい人は?

A:「認知症ってよく知らないな」と考えている人、認知症の当事者、支える人



学生・社会人を中心としたボランティアと当事者

フォローしてね!

Instagram



長寿すこやかセンター
ホームページ



●Instagramの投稿

Question
心に残った言葉

認知症は一方的に悪くなるものではない
進行していくばかりだと思っていたイメージが覆された
—— 福原虹太・同志社大学

スマホ等活用していけば、一人でも日常生活はある程度送れる
変える人が一人はいないとダメだと勝手に思っていたので、そういうツールをもっと知るべきだと思えた
—— ふみは・社会人

Question
本日の感想

認知症当事者の方とお話しましたが、改めて他の人と変わらない「普通の人」だという印象を受けました。質問するのと的確に回答され、建設的な意見を出されていて、認知症はあくまでもその人の一部分、個性であるということを感じました。私たちが受けたこのような印象を他の人にも伝えていきたいです。
—— N.K・大学生

Question
本日の感想

当事者の方と一緒にわきあいあいと話し合うことができました。初めて参加した時と比べて、私自身も若年性認知症に対するイメージがどんどん変わっているのを感じました。
—— 池田七望・大学生

若年性認知症のことをたくさんの人たちにもっと広まって欲しいし、そこに携わられているような気がして嬉しかったです。
—— W・大学生

おわりに

市民と団体、団体同士が出会う場となったつながるフェス。ここでつながった人がボランティア活動をはじめたり、新しい活動が生まれるきっかけとなれば幸いです。

主催 京都市福祉ボランティアセンター
<http://v.hitomachi-kyoto.jp/>

ホームページ





地域で安心して暮らしていくための支援活動を始めてみませんか？

やってみよう、生活支援員

〔日常生活自立支援事業〕

日常生活自立支援事業では、高齢の方や障害のある方などで判断能力に不安のある方が、住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、ご利用者と社会福祉協議会との契約に基づき、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を支援しています。生活支援員が、利用者のお宅などを訪問し、支援を行います。

支援の内容

福祉サービス
利用

お金のやりくりの
相談

通帳や印鑑の
管理

書類の
整理や手続き

ご利用者と社会福祉協議会で定めた支援計画に基づいて、月に1~4回、1回につき1時間~1時間半程度の支援を行います。

生活支援員になるには

社会福祉に関心があり次の1~3の要件すべてに該当する方で、生活支援員養成研修を受講された方を生活支援員として登録させていただきます。その後、京都市社会福祉協議会と雇用関係を結んだうえで活動いただけます。京都市社協職員のサポートがあるので安心して活動できます。

- 1 京都市内に通勤可能な方
- 2 満75歳未満の方
- 3 実際に生活支援員として活動できる方(最低月1回程度)



生活支援員養成研修

高齢者や障害のある方の日常生活を支える生活支援員の活動にご興味のある方は、ぜひご参加下さい。

【日程】 2024(令和6)年3月13日(水)

【時間】 研修① 9:30~12:40 ビデオ視聴会 ※事前のオンライン視聴で受講に代えることができます。
研修② 14:00~16:15 講義、グループ別懇談会等

【会場】 ひと・まち交流館 京都 2階 大会議室(下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1)

【受講料】 無料

【定員】 65名(先着順)

詳細はこちらをご覧ください→



お問い合わせ先 京都市社会福祉協議会 生活支援部 TEL 075-354-8734

メガネのお悩み何でもご相談ください

「手持ちのメガネがぼやけて見えにくい」、「パソコン、スマホを使うと目が疲れる」、「紫外線が心配」、「メガネがすぐずれてしまう」など、何でもご相談ください。様々な用途に合わせたレンズ・フレームをご提案いたします。

定番のセット商品も
あります!

————— メガネセット (レンズ付き) —————

近視 遠視 乱視 老視 **¥4,900**より

————— 両用メガネセット (レンズ付き) —————

遠近 中近 近々 **¥9,900**より

●営業時間 全店10:00~19:00[全店水曜日定休] @ogiopticart

北大路店
075-417-3154
堀川北大路西へ100m

中立売店
075-441-3571
大宮中立売西へ50m

円町店
075-803-2880
西大路太子通バス停前

大宮高辻店
075-803-1722
大宮高辻西へ100m

東山二条店
075-762-1115
東山二条西へ100m

Optic art Ogi
オブティックアート オギ

※各種クレジットカードご利用頂けます。
※福祉眼鏡取扱

https://www.oa-ogi.jp

オブティックアート

検索

生活支援員 波田さんの活動を ご紹介します。

生活支援員の仕事って
たのしい!



支援の1日



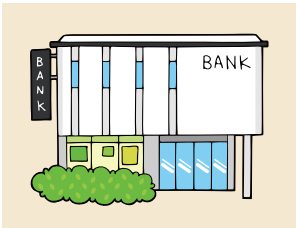
まずは 区社協へ

区社協で保管している利用者の通帳を受け取ります。



利用者さんの 自宅を訪問

利用者と一緒に必要な生活費を確認し、出金する金額を決めます。



銀行で お金の引き出し

銀行に行き、出金や支払いをします。



今回の支援内容、 次回の予定を確認

自宅に戻り、今日の支援内容を利用者と確認し、次回の支援日を決めます。

区社協へ通帳を返却します。 **本日の支援終了**

支援員としての思い

利用者さんの気持ち、思いを受け止め、
信頼を得るように心がけています。

生活支援員 波田 衛さん

3年前、市民しんぶんを見て「僕で役に立つなら」と思い生活支援員に。現在、3人の利用者を担当。

「生活支援員になって、色々な人に出会い、たくさん話を聞けるので楽しいです! 活動の中で一番うれしいのは、利用者さんに名前を覚えてもらった時です。『もう覚えてくれたんか。』『そうや、覚えてたで。』なんて話しています。

大切なお金のことなので、ご本人にも金額をしっかりと確認してもらい、信頼を得られるように心がけています。

時々、無理難題を言われることもあります。ご本人の気持ちになって受け止めようと思っています。」

利用者 木村さん(仮名)

4年前、郵便物の管理やお金の使い方に自信がなくなり、この事業を利用することにしました。

「とにかく今生きているのが自分でも不思議や思うてんのやけど、元気でいるって一番大事なところやろな。手も動くし頭もしっかりしてるし、お金の管理もしてもらって楽やし、あとは言うことなしやな。」



私たちは福祉系の様々な広報制作を行っております。

ご相談は下記電話、メールからお気軽にお問い合わせください。



PR広報の
コンサルティング



WEBサイト
企画制作運営～
システム開発



団体、企業の
ブランディング



紙媒体の
企画・デザイン



イメージ写真
プロデュース・撮影



取材～文章作成
コピーライティング

特定非営利活動法人

やさしいデザイン

TEL : 075-315-9072 MAIL : info@yasashiidesign.jp
〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93番地 京都市サーチパーク4号館432号室



つながり続ける 地域をめざして

どんな地域でも孤独・孤立の課題は深刻さを増しています。孤独・孤立の課題はさまざまだから、解決する方法もさまざま。それぞれの地域ならではの活動による解決が試みられています。

上京区 仁和学区 「みんなのにんな」

みんなで作る、みんなの居場所

仁和学区は、上京区で最も人口の多い学区です。これまで、地域住民は専門職と共に地域福祉の向上に努めてきましたが、高齢化率が高く孤立しやすい状況に懸念がありました。そこで、子どもから高齢者まで誰でも一緒に集える場を作りたいと、高齢者施設と協働して2023（令和5）年の3月に「みんなのにんな」が始まりました。

人の往来の多い「地域密着型ケアセンターおんまえどおり」にあるこの居場所は、高齢者にとっては買物の行き帰りに丁度休憩し易い位置にあります。

この日は、子どもも大人も仮装してハロウィン企画のスタンプラリーやカフェを楽しみました。併せて施設見学や地域包括支援センターによる高齢者相談もでき、通りがかりの知人を誘ったり、施設利用者がカフェを手伝ったりと賑やかでした。

「コロナ禍で、“施設の敷居をなくし、自然と人が集う場”を目指す取組ができなくなり3年が経過。この状況でもできる事はないかと考えていた時に居場所づくりの相談が入りました。」と話す小谷副施設長。職員だけでなくみんなで考える方が楽しい場づくりができると実感されていました。



みんなで仮装して記念撮影をしました

「今は、楽しくないと集わず、逆に楽しいことには協力してくれます。行事を役員だけで運営する方が楽かもしれませんが、目的は単なる行事の実施ではなく、その過程で地域につながりを広げ、強めることです。手間暇はかかっても、基本は断らずに少しでも関わり方や役割を見出して協力してもらっています。」との岡野仁和社協会長の思いの下で、みんなの力を少しずつ持ち寄り誰もが楽しく集える居場所になりました。



施設利用者もカフェでコーヒーを淹れるお手伝いをします



施設内のスタンプラリーを制覇した子ども達へお菓子がプレゼントされました

愛着ある地で暮らし続けるために

面積の約8割を山林が占める左京区。その北部山間地域の花脊・別所・広河原・久多は、自然豊かな山里です。地域復興の取組を続ける一方で、過疎化も進み、半数の学区の高齢化率が約60%という状況です。

高齢になってもまだまだ畑仕事などに忙しい反面、暮らしの困り事や不安が増え、住民同士の助け合いだけではできないことも増えています。そこで、4学区では警察・消防署・地域包括支援センター・区社協等と共に「地域の見守り活動」に取り組んできました。コロナ禍で中断していた「安心カード更新訪問」が3年ぶりに再開できました。



自宅を訪問して近況を聴き取ります

緊急時に必要な情報を記載した「安心カード」の更新作業では登録者宅を訪問する時に、体調の変化、生活の困り事などを聴き取ります。自動車免許返納後の買物・通院の移動手段、草刈り・雪かきの悩みや体力低下に対する不安が多く確認されました。

また、必要な福祉サービスがなくて施設への入所を選択したり、家族と同居するための転居が相次いだりしていることが明らかになりました。その結果、空き家が増えて隣人同士でつながることが難しくなっています。

そのような課題を解決する協働の取組があります。地域包括支援センターが顔の見える関係を地道に築いて体調を見守り、地域にある高齢者施設や市の施設が社協の取組に会場提供して協力しています。駐在所も地域の相談を広く受け止めてくれます。簡単には解決できない深刻な課題に対して、住民が一人で悩みを抱えこみ、諦めてしまわないよう、解決に向けて一緒に考えるチームの姿がそこにありました。



安心カードを定期的に更新して緊急時に備えます

タクシー会社の協力で、つながりを絶やさない

大原野学区は、西京区の中で最も広い学区です。歴史・文化や豊かな自然を有するという魅力をもつ一方、バスの本数が少なく交通の利便性の低いことが地域課題となっています。

65歳以上の独居高齢者が集う居場所「なぬか会」では、行きたくても遠くて会場に行けないと、参加者の減少が進んでいました。そこで何とか集まれる工夫が出来ないかと協議した結果、学区内を営業地域とするタクシー会社に協力を依頼し、2023(令和5)年の4月より送迎の仕組みを整えました。送迎中は民生児童委員や老人福祉員が



タクシーを利用して帰宅します

同乗して利用者を見守り、料金も一部を大原野社協が負担し、気軽に利用できます。この日は、大原野小学校で児童との伝承遊びが行われ、タクシー

送迎の利用者も参加。あやとり、羽子板、ゴム鉄砲等昔懐かしい遊びを楽しんだ後、児童から肩たたきや歌をプレゼントされ、和やかに楽しいひとときでした。



多世代で昔あそびを楽しみました

タクシー送迎の利用者からは「送迎してもらえて本当に有難いです。毎回安心して、とても楽しい時間を過ごせています」との声があり、スタッフからも「送迎することで参加者が増えました！参加して頂きたい方に声がかげやすくなりました。」と喜びの声があがっています。

地域課題から生まれた新たな創意と工夫によって、地域の中で顔の見えるつながりを絶やさず、笑顔あふれる居場所づくりが続けられています。



あなたの「学びたい」をサポート

福祉の研修情報ネット

アクセスはこちらから

みやこけんしゅう

http://www.miyako-kenshu-net.jp



福祉のことを学びたい市民の方、ボランティア活動をしている方、福祉の仕事に携わる方、そんな皆様に役立つ研修や講座の情報(65団体・機関が主催者として登録)を掲載しています。ぜひ、ご利用ください!

「京・福祉の研修情報ネット」でできること

研修情報 検索・閲覧

対象者、キーワード、分野、主催者などの条件で検索!!

らくらく受講申込み

▶ **申し込む** をクリック!

(一部研修を除く)※

メールマガジンの配信

▶ **メールマガジン申し込み** をクリック!

最新情報をお届けします。

※省資源、事務効率化、個人情報保護(FAX誤送信の防止)等の観点から、受講申込みについては、できる限り当サイト申込フォームの利用にご協力ください。



お問い合わせ先 京都市社会福祉協議会 社会福祉研修・介護実習普及センター TEL 075-354-8771

ご寄付のお礼 (令和4年12月~令和5年12月)

貴重なご厚志ありがとうございました。(五十音順、敬称略)



- | | | |
|------------------|-----------------|-----------------------|
| 生田 好重 | 京都鴨川ライオンズクラブ | 京都洛北ライオンズクラブ |
| 石田 須巴子 | 京都賀茂ライオンズクラブ | 京都洛陽ライオンズクラブ |
| 一般社団法人けせらせら | 京都北ライオンズクラブ | 公益財団法人京都市健康づくり協会 |
| 宇治ライオンズクラブ | 京都グレースライオンズクラブ | 公益財団法人京遊連社会福祉基金 |
| 大枝民生児童委員協議会 | 京都紫明ライオンズクラブ | 境谷学区保健協議会 |
| 株式会社エスケーエレクトロニクス | 京都醍醐ライオンズクラブ | 眞松庵 |
| 株式会社西村衛生ポーロ本舗 | 京都橘ライオンズクラブ | 特定非営利活動法人 |
| 株式会社阪急オアシス | 京都天神川ライオンズクラブ | 子育て支援コミュニティおひいすパワーアップ |
| 株式会社ピエラス | 京都ときわライオンズクラブ | 西村 正憲 |
| 株式会社ホテルプリンセス京都 | 京都鳥羽ライオンズクラブ | 日本騎手クラブ関西支部 |
| 株式会社三井田商事 | 京都東ライオンズクラブ | 舞鶴ライオンズクラブ |
| 関西遊技機商業協同組合 | 京都南ライオンズクラブ | 三上 喜範 |
| 京セラ株式会社 従業員一同 | 京都むらさきライオンズクラブ | 水口ライオンズクラブ |
| 京セラ株式会社 本社 | 京都モーニングライオンズクラブ | 向段 智史 |
| 京セラ労働組合 京都支部 | 京都やわたライオンズクラブ | 八浪 公夫 |
| 京都葵ライオンズクラブ | 京都淀ライオンズクラブ | 山城ライオンズクラブ |
| 京都乙訓ライオンズクラブ | 京都洛翠ライオンズクラブ | 劉 育銓 |
| 京都桂ライオンズクラブ | 京都洛東ライオンズクラブ | |

※その他複数の匿名の方からもいただいています。

福祉のまちづくり 190号 2024年2月1日発行

発行/社会福祉法人 京都市社会福祉協議会

TEL. 075-354-8731 FAX. 075-354-8736

ホームページで京都市社協の活動を映像でご覧いただけます。携帯電話でも右のQRコードから簡単アクセス!



京都市社協

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1 (河原町五条下る東側)「ひと・まち交流館 京都」
[発行人] 小石玖三主 [編集人] 芳賀正昭 [編集協力] IG株式会社



京都市社会福祉協議会では、京都市における環境負荷の管理・低減の規格であるKESステップ2を認証取得し、環境負荷軽減に努めています。



この広報誌は一部共同募金の配分金で発行しています。

